

鶴見川改修期成同盟会 てい だん 設立 100 周年記念鼎談

見逃し配信受付中
期間 11/28(日)
～令和4年1/10(月)

私たちの街の治水安全はどこからきたか！

鶴見川流域治水をすすめた
住民活動の歴史と未来



平井誠二氏
大倉精神文化研究所理事長
地域歴史研究家



飯田助知氏
同盟会を推進してきた
飯田家現当主



岸由二氏
慶應義塾大学名誉教授
鶴見川の洪水体験者

2021年11月23日(火・祝)

13:30～15:30 実施済み

鶴見川は国に関連自治体が管理する一級水系です。多目的遊水地があり、流域治水が実践され、大水害も過去の記憶となって、私たちはこの安全を当たり前と感じています。しかし国が管理を始めたのは1967年(昭和42年)と最近のこと。100年、200年に一度の豪雨がくれば、危機は再来するのです。

今年度は国の支援を求めて奮闘した鶴見川改修期成同盟会が結成されて、100周年。その労苦の歴史をひもとく、現在そして温暖化未来の鶴見川流域の、安全(治水)、環境、くらしの課題を考えます。

鶴見川流域水マスタープラン(略称水マス)

鶴見川流域を水害のない、安全で、川辺や街に多様な生きものがくらすことができる市民・市民団体・企業・行政が連携して実施する施策です。

見逃し配信 お申し込み方法

フォームに必要事項を記入して送信
<https://forms.gle/BcpXYTL6aUdVCBeb9>



視聴 URL 受信

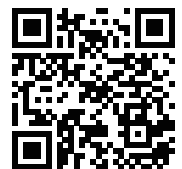
対象：大人(小学生高学年～)

無料

※配信期間 11/28(日)～12/26(日)

※個人情報はこの目的以外に使用しません

※返信がない場合はお問い合わせください



お申込フォーム

実施担当・お問合せ先 平日 10:00～17:00

NPO法人 鶴見川流域ネットワーク

Eメール: office@tr-net.gr.jp

TEL: 045-546-4337 FAX: 045-546-4344



主催：鶴見川流域水協議会

(国土交通省関東地方整備局 東京都 神奈川県 横浜市 川崎市 町田市 稲城市)

共催：連携鶴見川流域ネットワーク

協力：公益財団法人 大倉精神文化研究所 横浜市大倉山記念館